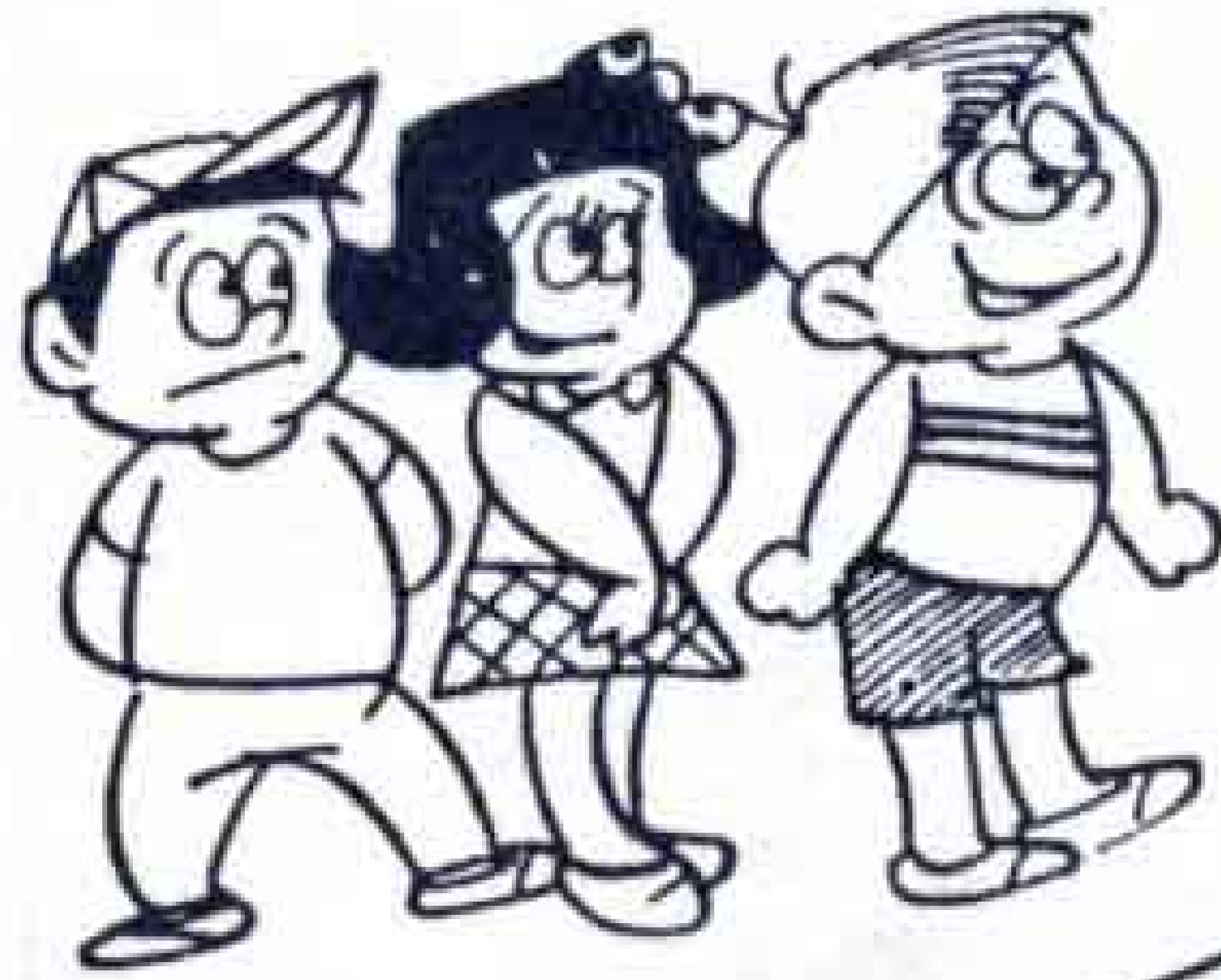


明日の富士市の
担い手に
健全な身体と
健全な精神を

5月5日~
11日まで



児童福祉週間



親のためにでなく
こどものために

こどもは親の愛によって育てられ
人と接することによって喜びや悲し
みを知るようになり人間としての性
格が作られていきます。

最近、親の育児能力の未熟による発
達の遅れや、過保護による依存性の強い
子、教育にこだわり、こどもらしい言動
を妨げられているこども、などが多くみられ、特
に情緒の発達が遅れているこども達が多いとい
われています。

情緒とは喜怒哀楽などの感情をい
い、1~2才でほとんど大人のもつ情
緒が発達します。

これは家庭を軸とする人と人との
接触を重ねることによって情緒が発
達し、将来の人間形成の基礎となり
ます。情緒の健全な発達は障害者へ
の道を防ぎ、豊かな心をもつ円満な
人間を作り、より好ましい地域社会
の一員として明るい街づくりのため



こどもらしく、伸び伸びと
育てて下さい。

の担い手となります。

大人の
心がまえ



児童週間がはじまります。

「すべての児童は人として尊ばれ、
社会の一員として重ぜられ、よい環
境の中で育てられる」と宣言された
日本の児童憲章は、昭和26年5月5日
に制定されました。

この児童憲章は、児童に対する大
人の心がまえや、責任、及び義務等
を定めたものでありますが、28回を
数える「子どもの日」をむかえるに
あたって、今日の現状とより好しい
児童を育成するために、その意義を
考えてみましょう。



心の暖さを
育てたい

全神経を使い親
の動きに気を付け
ている幼児期がも
っとも感受性の強
い時期だとされて
います。
その幼児期に示
したあの努力、互
いに愛を感じ合っ

たあの心はどこで消えるのだろう。
物を与えるだけの親の自己満足を
こどもは求めているはずです。
時代が変わろうとも物でなく心を育て
ることが親子の断絶を除き、明るい
家庭が生れると信じています。そし
てそこに真の福祉が定着します。

富士市総合育精施設長
佐藤芳一 (50才)



母親の役割
に思う

私達の母親は朝
早くから深夜まで
肉体と精神の続く
限り家事と育児を
両立させ家族の心
の支えとなり、偉
大なる母親の愛に
心を打たれたもの
でした。

自信をもって育てて下さい

親は本質的に子どもを愛し子どものためにつくす動物本能が最近では自分本位の考え方で子どもに対する責任をと



らない例がマスコミで取り上げられ子どもへのしうちの残酷さには想像を絶するものが多発しています。

母親として育児に専念するよりは職を持ち経済的なゆとりを持ちたいという考え方や、母親自身の性格が

未熟で母親の資格がないことから生ずる事件も多くあります。

また最近、育児や幼児教育に自信がないという親があります。

親が親自身一生懸命生きていることが、こどもに信頼され尊敬されることになり、互に人間的な結びつきを深め親としての自信が生れます。

どんなささいなことでもよいのです。「わが家ではこのことだけは守っていこう」等、家族で話し合い、こどもだけではなく親たちも守っていくのも一つの方法です。

一あなたが育てた、あなたのこどもは、市民の宝なのです。自信を持って育ててくださいー

なにげない親の言葉が時には、こどもの人生を支える大きな力となり、逆にこどもの人生を大きく狂わせることとなります。



ねがい

精神薄弱児であろうと肢体不自由児であろうとすべての障害をもつ児童が、ひとりのもれもなく、家庭に学校に、施設に、職場に、地域社会のあらゆる場に、地域の人々がなかまとして意識し、なかまとして受け入れ、人間として明るい生活を保障する、これは、暖さでもなく、協力でもなく、特別な感情でもない。

なぜなら、人間だけがもつ心の豊さがそうさせる当然の責務であることを自覚しましょう。

児童の相談室を計画しています

- 5月9日 鷹岡公民館 (小会議室)
 - 5月10日 文化センター (第5会議室)
 - 5月11日 市民会館 (第5会議室)
- (時間は午前9時30分～午後3時迄)

児童問題の講演会を開きます

新入園児の母親を対象にこどものしつけや生活指導について講演します。

- 5月3日 市民会館 (第1会議室)
 - 5月4日 鷹岡公民館ホール
 - 5月5日 文化センター (第5会議室)
- (時間は午後1時より3時まで)

※講師はみどりご保育園の望月さくゑさんです。

こどもの人格を尊重して!!

こどもは、こどもなりに各々の人格があり、強いプライドを持っています。兄弟や友人をひきあいに出しながら「〇〇ちゃんは勇気がある」「おにいちゃんと比べて〇〇がわるい」等、こごとをいうことは、本人の心を大きく傷つけることになり、厳しく叱ったり罰を与えてもこどもは自分の立場を守ることだけにせい一杯で自分の行動を反



省したり、非を認めたりすることはできにくくなります。

こどもにも良心が育ちはじめています。この良心を形づくるためにも親は善悪についてはっきりした基準を示し、たえず生活の中で親が態度で示して下さい。



たまには1日、こどもを叱らない日を決めてみませんか

現代では核家族により、こどもの数も少なく母親がこどもに干渉しすぎ、また支配しようとする傾向ではないでしょうか。教育には熱心ではあっても、余りにも自己中心的な気がします。もっと、心の支えを大切にして下さい。

市立北保育園長 井出美千代 (36才)



過保護からたくましいこどもに

少ないこどもを大事に育てたい意図は理解できますが、然し手をかけすぎてこどもが甘え自主独立の心が薄れ消極的利己的な人間とならないうだろうか。

最近の教育現場のこどもを見ると福祉が伸びすぎ過保護が定着しています。5月の空にさわやかに泳ぎまわるこいのぼりのように、心身共に健全で勇気のあるたくましいこどもに育ってほしいものです。

富士市家庭相談員 神谷三郎(63才)

イラストは全国子ども会連合会「若い力」より